



六中だより

その人の『物語』

校長 黒沼正彦

劇作家で演出家の鴻上尚史という方がいます。その方の以前書かれたエッセイが心に残っています。かなり前に読んだもので、その本も今は手元になく記憶しかないのですが、次のような内容だったと思います。

ある死刑囚がいた。彼は死刑が宣告されてから、明日への希望をなくし、いつ死刑が執行されるかわからない恐怖と不安から手が付けられない自暴自棄になっていた。ある日、そんな彼のもとに、一輪の花が差し入れられた。そんな花はどうせ捨ててしまうかと看守の誰もが思ったが、彼は看守に頼んで、水を入れる器を借り、その花を活けた。毎日花の水を変え、花を見つめるようになった。すると彼はその日から次第に落ち着いて生活するようになった。看守が彼の変容におどろいてどうしてか尋ねると、こう答えた。

「以前の自分には過去も現在も未来も暗闇でしかなかった。そして明日が来るのが恐怖でしかなかった。でもたった一輪でも花をもらってからは、朝、その花のために水を取り替えるという明日を迎える『意味』が生まれた。それはまるで一筋の光のように明日を迎える希望になった。」

明日を迎える『意味』それを人は『物語』という。人はそれぞれ自分の物語を持っている。物語を持っているから生きていける。時には眠れない夜を越え朝を迎えられる。

教員は、毎日、翌日の授業の準備をした後、「明日の授業に向けてがんばってプリントを工夫したけど生徒はそれをよろこんでくれるかな。」「とっても面白いと感じる素材を用意したけど、そう感じてくれるかな。」などと考えます。また、学年主任や担任として心配なことがあると、「今日の指導でここはこんな風にすればよかったかな。明日あらためてこんな話を心を込めてしようと思うけど、みんなちゃんと分かってくれるかな。」などと考えます。部活の試合や発表会、行事の前日などは、生徒一人一人の顔を思い浮かべて、「大丈夫。準備はやるだけやった。あとは今日を楽しむだけ。本番前に笑顔でそう言ってはげましてあげよう。」などと思いながら眠りにつきます。私自身教員として32年間、毎晩そうでした。朝を待ちきれずに夢の中で授業をし、夢の中で生徒指導をしていたこともありました。自分の今日の準備が明日の生徒の笑顔につながればと、そういう思いが明日への『意味』であり自分の『物語』だったとつくづく思います。

今、校長として働き方改革をすすめる立場となりました。組織的な業務の遂行や外部人材の活用などで具体的に勤務の時間を減らす取り組みをおこなっています。ICTの活用も改革の手立てとしたいと考えています。ただ、教職員の自分の『物語』も尊重しなければならないと思っています。また、新型コロナウイルス感染症の対応もあまりにも長期にわたってしまっています。生徒や教職員が楽しみにしている行事や部活動の機会をできるだけ確保したいと考えていますが、状況によってそれぞれの『物語』が失われてしまうことも校長としてとても心を痛めています。当然、感染症の対策をして生徒やその家族の命を守ることが第一。その上で、一輪の花に水をやるように、目の前のできる中から明日を迎える希望の『物語』を見出していきたいものです。

～教職員の紹介～

保護者配布版のみ
掲載しています

～生徒ガイダンスより～

4月13日（火）午後、生徒会役員主催による生徒会ガイダンスが行われました。

感染対策をとりながら、全校生徒の今年度初・集まる場面となりました。

専門委員会、部活動の紹介を行いました。

部活動紹介の場面では、各部活動ごとに工夫を凝らした演出等もあり、会場を沸かせていました。



卓球部



書道部

～安心安全メール 登録のお願い～

4月の始業式・入学式の翌日に「一斉送信メール・登録のお願い」を配布しています。保護者のみなさまにおかれまして、現在の学年・クラスでの登録を行ってください。方法等ご不明なことがありましたら、担任までご質問ください。

5月の主な予定

6日（木）中央委員会	18日（火）耳鼻科検診（1年）
7日（金）離任式	19日（水）セーフティ教室
10日（月）全校朝礼	21日（金）校内研修会
教育実習始	24日（月）安全指導
尿検査（二次）	体育大会予行準備
専門委員会	25日（火）体育大会予行
11日（火）尿検査（二次）	26日（水）避難訓練
12日（水）校内研修	職員連絡会
13日（木）巡回相談日	27日（木）全国学力調査（3年）
14日（金）生徒総会	28日（金）体育大会前日準備
15日（土）土曜授業日	29日（土）体育大会
部活動保護者会	教育実習終

